

感動の景色に出会えます



360°のパノラマ



115段のらせん階段を上った先には・・・

入道埼灯台



アクセス

車：秋田自動車道昭和男鹿半島IC～国道101号、
県道55号経由 約1時間
電車：JR男鹿線男鹿駅下車
男鹿駅～（秋田交通バス男鹿北線）～
湯本駐在所前（男鹿市単独運行バス入道崎線）
～入道埼下車（約1時間10分）

参観時間

4月中旬～10月15日 | 10月16日～11月上旬
土日等 9:00～16:30 | 9:00～16:00
平日 9:00～16:00

※土日等：土、日、祝日、休日、GW、8/10～19日

入道埼灯台は季節参観のため、11月上旬～4月中旬ま
ではのぼることができません。詳細の日にはHPをご確認
ください。悪天候の際は、のぼれない
場合もございますのでご了承ください。
日々の参観状況につきましては、
当会HPをご覧ください。

<https://www.tokokai.org/tourlight/tourlight01/>



参観寄付金

大人 300円（中学生以上）
小学生以下及び障がい者（介助者1人まで）
の方はいたしません。

燈光会 入道埼支所

〒010-0675
秋田県男鹿市北浦入道崎字昆布浦
TEL：090-1931-9706

にゅうどうさきとうだい
入道埼灯台



NYUDOU SAKI
Lighthouse

黒白の模様は
のぼれる灯台16の中で
ただ一つ

灯台資料展示室
～ 展 示 品 ～

海と緑に囲まれた灯台



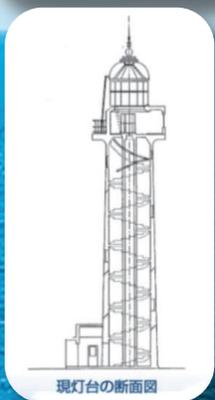
青森県鱸作埼灯台レンズ



初代鉄造灯台



90センチ回転式ビーコン
平成9年まで
伊勢湾灯標で使用



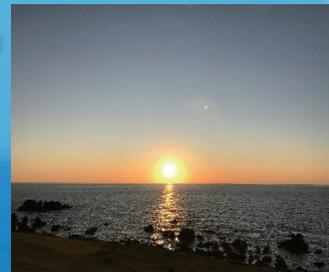
現灯台の断面図



入道埼灯台の歴史

明治31(1898)年11月8日初点。

建設当時、秋田県と山形県には2基の木造灯台しかなく暗く危険な海域であったことから建設されました。初代レンズはソーターハーレー社製の第一等24面フレネル式回転レンズで日本一を誇るレンズでした。



昭和26年、老朽により改築が行われましたが、終戦直後で資材不足のため5年の歳月を要し、現在の塔形コンクリート造白黒しま模様の姿に生まれ変わりました。しま模様は、灯台周辺が雪景色となっても目立つようにするためですが、雪が降らない地域でも海や空が背景となる灯台はしま模様になっています。

平成30(2018)年、点灯から120周年を迎え、今でも海を照らし続けています。

【この灯台の概要】

位置:北緯 40度00分18秒 東経139度42分06秒

光り方:単せん白光 15秒に1回発光

(沖合の船舶から灯台を見た場合、回転するレンズから放たれる光を15秒ごとに
見ることができます)

光の強さ:530,000カンデラ(「カンデラ」とは、光源の強さを表す単位です)

光の届く距離:20海里(約37キロメートルです。1海里は1,852メートルです)

高さ:灯台の基礎部から灯台の頂部まで、約28メートル

レンズ:第三等大型2面フレネル式閃光レンズ

(複数のプリズムを組み合わせるにより軽量化されたレンズで、「フレネル」とは、フランス人開発者のフレネル氏の名前です)